

三郷町では令和4年度から小中一貫コミュニティ・スクールを導入し、学校と地域の人々（保護者・地域住民）が目標を共有し、ともに知恵を出し合い協働しながら、一体となって地域の子どもたちを育てていくことで、義務教育9年間の子どもの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めています。

この事業は、奈良県学校・地域パートナーシップ事業を活用して取り組んでいます。令和7年度に重点的に取り組んだ課題に応じた目標と評価・分析については以下の通りです。

◆令和7年度に学校・地域パートナーシップ事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

課題の類型1	②学校と地域の課題
課題の類型2	学校支援ボランティアの確保・育成
課題の詳細	幅広い項目において学校支援ボランティア活動を実施してきた。高齢化が進み、ボランティア活動等に参加できない方が出てきた。地域コーディネーターが募集人数を集めるのに苦勞する活動もある。
上記課題の解決のために本事業で取り組むこと	・ボランティア活動内容の簡略化を目指し、内容のほか、連絡手段や学校との打ち合わせ等の流れについて「見える化」を図る。 ・併せて、ボランティア活動内容の項目見直しも取り組む。
本事業で達成する目標（アウトカム）	・教職員や地域コーディネーター業務負担の軽減、後継者育成への下地づくり、学校支援ボランティアの登録者の増加を目指す。
目標の達成度を測る指標	ボランティア登録者数
現状の数値	340人
本年度の目標値	350人
本年度の実績値	344人
アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	・学校支援ボランティアの登録者数は、目標値を超えることができなかった。 ・町議会議員からの紹介や退職教員のボランティア登録があり、例年とは異なる形での増加となった。 ・町の広報誌やFacebook、ボランティア新聞で活動の周知を図った。 ・登録へ繋がる新たな仕掛け（イベント、電子申請等）について、検討する。 ・多岐にわたるボランティアの活動内容については、教育現場でほとんど利用されていない項目が存在するため、簡略化する必要がある。 ・活動内容の簡略化に向けては、特に教育現場のニーズ把握が重要であることから、ボランティア項目の見直しに取り組みたい。

◆学校支援ボランティアの様子（活動の一部）



子どもたちが楽しみにしている体験活動の様子です。
ボランティアさんからは、活動に参加し子どもたちとの交流は「元気ができる」「活動を続けたい」とのお声をいただいています。